

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

1.15

目次

広報サポーターだより 伝統の「田原祭り」の魅力を探る	2
田原南部校区	4
学校は今…「楽しく意欲的な学習」	5
たはらしティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

輝き満ちる
早春の息吹！





▲昨年の田原祭りの様子(田原福祉専門学校撮影)



広報サポーターだより 伝統の「田原祭り」の魅力を探る

こんにちは。広報サポーターの大坪未です。
私は昨年の4月に、岐阜県の高山市から田原市に引越して来ました。約半年がたち、地域の人々の温かさや、すてきな場所、おいしい食べ物など、多くの良いところに出合ってきました。今回は、田原市の魅力の一つである「田原祭り」を、インタビューなどを通してご紹介します。

田原祭りについて インタビュー



▲祭りについて熱く語る鈴木正彦さん(写真左)

インタビューの前に

江戸時代から始まり、長い歴史を持つ田原祭り。昨年の9月に、私は田原福祉専門学校の「たづぐ組」の一員として、初めて田原祭りに参加しました。街中の熱気が迫力満点で、人々の団結力や華やかな山車がすばらしい祭りだと感じました。そこで、田原町にお住まいで祭り筋の鈴木正彦さん(菅町分銅組)に、祭りにかける意気込みや思いなどについてお伺いしました。

Q.1 どのくらいの期間、練習をするのですか？

A 一年中練習しています。祭りが終わっても、毎週一回のお囃子の練習をお盆まで行います。お盆が終わると、本番までは毎日練習していますよ。

Q.2 毎年どんな思いで祭りに臨んでいるのですか？

A 時代が変われども、世代が変われども、いつまでも引き継がれていくために、一番心がけているのは、まず自分たちが、心の底から楽しめる祭りになりたいということです。また、祭りを観るために多くの人が遠方や海外から訪れていますので、一緒に盛り上がり、楽しめる祭りづくりをしていきたいと思っています。

子どもの数が減ってきていますので、山車の引き手が足りないこともあります。他の町内から手伝いに来てくれる方もいて、とてもありがたいです。昔は、男性ばかりで神輿を担いでいましたが、今では女性も参加するようになり、祭りを華やかに盛り上げてくれています。



▲たつぷく組の神輿作りと田原祭りの様子(田原福祉専門学校撮影)

たつぷく組の神輿作り

田原福祉専門学校の学生手作りの神輿は、行灯あんどんに絵を描くところから始まり、組み立てることも一大事でした。地域の方々に教えていただき、手伝ってもらいながら、やっと完成させることができました。祭りの裏方も体験して、大変さも実感できました。



Q.3 田原祭りは毎年雨になると聞きましたか？

A 今まで、ずっと祭りの日は雨だったのですが、昨年の祭りは晴れたのでビックリしました。昔から、祭りの日に雨が降ると「渥美半島は豊作になる」という言い伝えがあるそうです。

Q.4 田原祭りの見所はどこですか？

A 田原祭りの主役である昼な山車やまぐるま(昼の山車)では、新町・本町・萱町の山車が3台立ち並ぶ姿が見所だと思います。山車を引くのは、地元地元の祭り関係者だけでなく、いろいろな方が参加しても良いですよ。できるだけ多くの方々に引いていただきたいですね。

夜には、着飾った子どもたちが、夜山車よるやまぐるまの上で練習してきた手踊りなどを、一生懸命披露する姿に心を打たれます。

Q.5 最後に、鈴木さんにとって、田原祭りとどんな存在ですか？

A 「二年の締め」みたいなものです。普通は1月〜12月を一年の区切りにすると思いますが、祭りを行う9月が私の中の一年の終わりで、また始まりの月でもあるのです。本当に祭り大好き人間なんですよ！祭りが楽しみで仕方がなく、お盆になると毎身体がうずうずしてきますね。(笑)

インタビューを終えて

終始笑顔で、熱くお祭りについて語ってくださった、鈴木正彦さん。祭りに始まり祭りに終わる…。本当に、お祭りが大好きで、生活の一部になっている様子がひしひしと伝わってきました。こうした方々がいるからこそ、地域の活力につながり、そして、江戸時代から続く田原祭りが、若い世代に引き継がれていくのだと思いました。

今回の取材で、祭りについての知識などを得ることができました。今年も、昨年とは違った感覚で、ぜひ田原祭りに参加させていたきたいと思います。



▲分銅組大筒

基礎データ

- 【人口】 1,453人 (H20.11.30現在)
- 【世帯】 379世帯 (H20.11.30現在)
- 【面積】 約386ha
- 【公共施設】 南部保育園・田原南部小学校
- 【史跡・文化財】 黒河湿地植物群落・籠池古墳・宮西遺跡・雁合遺跡・木造観世音立像(長興寺)
- 【主な産業】 農業

校区自己紹介⑥

田原南部

●平成19年3月に開通した国道259号

校区の祖先を探る

田原南部校区は南北を山に囲まれ、海に接していない一校区一自治会の、小規模でまとまりのある校区です。人々の心は温和で、人情深いといわれています。

校区内には、宮西遺跡・雁合遺跡・佐藤遺跡・黒河遺跡があり、旧石器時代から人が生活していたと思われま



●宮西遺跡の発掘説明会

私たちの祖先は1万6千年前からこの地に住んでいたわけですから、多くの人が血のつながりのある親戚仲間といえるでしょう。



●市民館まつりでは、校区総代(左)と代議員が地元の風刺漫才を披露して親睦を深めました。

巨木・名木2選

大久保神社境内には、「たはらの巨木・名木100選」に選ばれた巨木があります。どちらも市の天然記念物となっています。

《ヤマモモ》

▷幹周 605cm

▷高さ 16.5m

▷樹齢 推定300年

*田原市随一の巨木で、生命力あふれる恐竜のような姿です。



●ヤマモモ

●スタジイ

《スタジイ》

▷幹周 401cm

▷高さ 14.5m

▷樹齢 推定200年

*神社の神木となっている巨木で、四方に伸び伸びと広がっています。

毎年、大久保神社の大祭(10月第3日曜日)には、地元童興会の笛や太鼓に合わせ、伝統のこども七福神踊りが奉納されています。

造成が進む住宅団地

本年度から本格的に田原市が造成している住宅団地は、総数85戸(50坪・70坪・120坪の面積区分を予定)の大型団地で、平成23年に販売が予定されています。

●造成風景(背後は田原南部小学校)



長興寺

建治2年(1276年)に開かれ、鎌倉時代宇多天皇の祈願所であった由緒ある寺です。田原城を築いた戸田氏の菩提寺であり、藤原期の木造観世音立像(県指定文化財)や、室町時代の領主・一色七郎の墓があることでも有名です。

(文:田原南部校区)



●長興寺山門



学校は、今…

SCHOOL REPORT ⑥
楽しく意欲的な学習

各学校では、子どもたちが学ぶ楽しさを味わえるように、地域人材・専門家を招いた授業をはじめ、調べ学習や小集団での活動など、授業に工夫をしています。今回は、童浦小学校と泉中学校の取り組みについてご紹介します。

●指導課 ☎ 23局3679

童浦小学校の取り組み

◎地域の人から学ぼう

6年生の社会の授業では、田原市博物館の学芸員や戦争体験者の方々に話を聞きました。実際に使用された砲弾を見たり、戦争の話を聞いたりした子どもたちは「大砲の弾って大きいな」「特攻兵への志願なんて、自分ならできない」「小学生も働いていたので驚いた」などの衝撃を受け、もっと知りたい、もっと学びたいという気持ちになったようです。



▶ 出征の様子を語るおばあさん

◎調べたことをもとに学習しよう

国語の授業では、みんなで感想を発表し合うことを大切にしています。「意見を聞いて、考えが変わった」「たくさんの人の意見を聞いて良かった」など、子どもたちは、みんなで話し合い、考えることの良さを感じながら学習しています。



▶ 友だちの意見を聞く子どもたち



▶ 友だちの発表を聞く生徒たち(英語の授業)

泉中学校の取り組み

◎小集団で“気づき、を出し合おう”

泉中学校が毎日の授業を充実させようと、目標にしていることが二つあります。一つ目は、一人ひとりが真剣に考え、全員がまじめに取り組むこと。そして二つ目は、今まで学習したことや友だちの意見などをもとに考え、疑問や課題を解決する力を鍛えることです。小集団で「なぜ? どうして? どうしたら?」を話し合い、追究する活動を授業に取り入れたところ、生徒の学習意欲が高まりつつあるのを感じます。

*話し合い活動の生徒の感想

「みんなで話をする、考えが少しずつ違っているのが分かります。その違いを見つけて話し合うと、いろいろなことが発見できておもしろいです」



▶ 実験をする生徒たち(理科の授業)



▲男女合わせて104チームが参加し、5区間をたすきでつなぎます

12月21日 日

声援響く
渥美路を力走

渥美半島の冬の風物詩として知られる**渥美半島駅伝競走大会**が開催されました。伊良湖岬を出発点に、女子は田原市役所赤羽根支所、男子は豊橋技術科学大学のゴールを目指す選手たちに、沿道から温かい声援が送られていました。



▲「みんなで創ろう未来のまち」のメッセージを乗せて出発

12月13日 土

市民の思いを乗せて
発車オーライ！

1380人の手形で彩られた**ラッピングバスの発車式**が、田原文化広場で行われました。このラッピングバスは、田原青年会議所がまちについて考えてもらおうと田原市民まつりで手形を集め制作したもので、ぐるりんバスとして1年間市内を走ります。



▲「日ごろから海を汚さないことが大切です」と話す鈴木代表(右)

11月25日 火

キレイな海を
みんなで守ろう

環境ボランティアサークル亀の子隊代表鈴木吉春さんが、社会貢献支援財団から、**社会貢献者表彰**を受け、その報告に川口侃教たかし育長を訪れました。平成10年から西ノ浜を中心に清掃活動を行ってきた功績が認められ、今回の受賞となりました。



田原市民活動支援センターのページ

第2回 しみんのひろば おもしろいじゃん!市民活動 やるじゃん!田原人 を開催します!

昨年2月、田原の市民活動団体の『交流』と『自活動のPR』を目的とした「第1回 しみんのひろば」が開催され、多くの人たちの興味のきっかけや、新しい出会いの機会になりました。

またやろうよ!の声が高き、今年度は参加団体有志によって「しみんのひろば運営委員会」が発足しました。委員長・副委員長・書記の3役、広報係・渉外係・会場係を決め、4月からほぼ毎月、ていねいに会議を重ねてきました。会議では『誰でも必ず意見を出し、話し合う』ことを基本にしています。

3月1日(日)10時より、第2回を開催します。ぜひさまざまな市民活動に触れ、体験してみてください!

開催日
平成21年
3.1(日)

目標は「交流」
「自活動のPR」

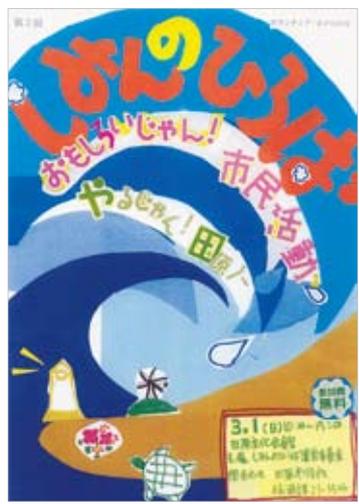
あつみロビーコンサート運営スタッフ会

参加団体
全31グループ
(変更有、順不同)

- NPOたはら広場
- くぬぎの会
- チームログっこ
- 図書館フレンズ田原
- NPO法人はつくるベリーじゃむ
- NPO法人東三河水環境連絡会
- ヒッポファミリークラブ
- 自然農業塾ほんとうの農業小屋
- NPO法人ゆずりは学園
- 田原福祉授産所
- NPO法人渥美半島ハイキングクラブ
- あかばねむらがなの会
- あつみNPOネットワーク
- NPO法人うたた

環境ボランティアサークル亀の子隊

- NPOエコウィンドネット
- 女性会議ウイットWIT
- NPO法人おおぞら
- 渥美半島の野池を守る会
- 託児所KIDS WORLD
- NPO法人菜の花エコネットワーク
- 汐川を美しくする会
- 衣笠子ども見守り隊
- 渥美太鼓「願成観音太鼓」
- 東三にじの会「たはら」
- 田原市地域公共交通会議
- NPO法人渥美虹の会
- たはら国際交流協会
- JA愛知みなみ助け合い組織こぶしの会



第2回 しみんのひろば ~おもしろいじゃん!市民活動 やるじゃん!田原人~

日時: 3月1日(日) 10時~15時 場所: 田原文化会館内

<内容> ●それぞれの活動のブースによる個別発表 ●ステージ上での活動パフォーマンス
●体験や手作りコーナー ●スタンプラリー(景品有) 他

ポスター作成中!
これが原案です

今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先
2/1(日) 午前10:00~	あつみNPOの集い、市民活動講座、市民活動相談会等	渥美文化会館 多目的ホール、ラウンジ	あつみNPOネットワーク事務局 (北原090-9226-1977)&市民協働係
2/15(日) 午前10:00~	田んぼの学校 =シイタケの菌打ち&シチュー作り=	どろんど広場 参加費:900円 小学生、乳幼児40名	NPO法人はつくるベリーじゃむ Tel:0531-34-1234
2/22(日) 午後2:00~	第5回あつみロビーコンサート ~ファゴットアンサンブル、弦楽四重奏~	渥美文化会館ラウンジ 入場料:500円	あつみロビーコンサート事務局 Tel&Fax:0531-32-3963(森下)
2/22(日) 午前5:15~	TIA日本文化研修会in京都 =外国人市民と京都を旅しよう=	京都市内 [申込1/30迄] 参加費:中学生以上5000円	たはら国際交流協会事務局 Tel&Fax:0531-22-2622

市民活動支援センターでは開設時(毎週金・土・日午後2~7時)にはいつでもNPO・市民活動相談などを受け付けています。田原文化会館フリースペースにお越しください。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です!

*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 総務課市民協働係 TEL: 0531-23-3506 FAX: 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター



募集

WANTED

田原市小学校教育活動支援員

▼募集人員 〓若干名 ▼対象 〓健康な方で、児童の教育活動を支援できる方 ▼採用期間 〓4月～平成22年3月 ▼勤務形態 〓午前8時30分～午後3時30分まで週12時間程度 ▼勤務内容 〓教育活動の補助、児童の生活支援 ▼賃金 〓時給1000円
▼選考方法 〓面接(期日など詳しくは後日連絡) ▼申し込み 〓2月20日(金)までに教育委員会指導課にて配布する申込用紙に必要事項を記入のうえ提出(郵送不可)

図書館等嘱託員の勤務場所および勤務形態

勤務場所	勤務形態
<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 赤羽根図書館 渥美図書館 ※勤務場所の指定はできません。	週5日勤務または土・日曜日、祝日勤務【週5日勤務】 ▶午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日出勤、不規則勤務あり/詳細は募集要項にて) 【土・日曜日、祝日勤務】 ▶午前8時30分～午後5時15分

▼指導課
☎23局3679 FAX22局3811

田原市嘱託員 (図書館嘱託員)

▼募集人員 〓若干名 ▼対象 〓司書・司書補・司書教諭のうちいずれかの資格を取得している方または3月31日までに取得見込みの方 ▼採用期間 〓4月1日～平成22年3月31日 ▼勤務内容 〓図書館業務全般
▼勤務場所・勤務形態 〓表のとおり
▼報酬 〓要項で定めた額 ▼選考方法 〓筆記試験・面接・作文 ▼試験日時 〓2月16日(月) 午前10時～

パソコン教室

コース (難易度)	開催日	時間
ワード2002の 便利な活用 《全4回》★★★	2/10(火)・2/12(木)・ 2/17(火)・2/19(木)	13:30 ～15:30
表計算初級 (エクセル2002) 《全4回》★★★	2/13(金)・2/18(水)・ 2/20(金)・2/25(水)	9:30 ～11:30
デジカメ写真を ワードで楽しむ (ワード2002) 《全3回》★★★	2/24(火)～26(木)	13:30 ～15:30
データベース入門 (アクセス2002) 《全4回》★★★★★	2/1～22の毎日曜日	13:30 ～16:30

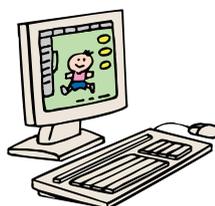
※難易度…かんたん★ ⇨ ★★★★★★むずかしい
※パソコンの環境…OSはWindows XP Pro、使用ソフトはInternet Explorer6.0、Microsoft Word2002、Excel2002、PowerPoint2002、Access2002です。

▼申し込み 〓2月11日(祝)までに田原市中央・赤羽根・渥美図書館にある申込用紙(図書館ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入のうえ、作文と資格証明書または取得見込証明書を添えて田原市中央図書館一般カウンターに提出/郵送の場合は田原市中央図書館に2月10日(火)必着 ▼その他 〓詳しくは各図書館などで配布する募集要項をご覧ください。
▼田原市中央図書館
(〒441-1342 田原町汐見5)
☎23局4946 FAX23局4646
<http://www.city.tahara.aichi.jp/section/library>

パソコン教室 受講者

▼対象 〓18歳以上の市内在住・在勤者 ▼場所 〓情報センター ▼定員 〓各コース16名(先着順) ▼受講料 〓無料(テキスト代は実費負担)
▼申し込み 〓電話にて(休館日・月曜日/祝日の場合は火曜日) ▼その他 〓受講中のコースを含め、同時に一人2コースまでお申し込みいただけます。

▼情報システム課
☎22局7200
FAX23局2808



田原市ライトダウンキャンペーン 参加事業所

2月は省エネ月間です。地球温暖化防止のため二酸化炭素削減を目指すライトダウンキャンペーンの参加事業所を募集します。家庭でも不要な照明はこまめに消すなど、省エネにご協力ください。

▼対象 市内事業所 ▼内容 2月1日(日)～15日(日)に施設照明などを消灯(消灯にあたっては、普段の業務などに支障をきたさない範囲で実施) ▼申し込み 1月30日(金)までにエコエネ推進室にて配布(市ホームページからダウンロード可)する登録票に消灯する施設名や消灯できる時間などを記入のうえ提出 ▼その他 参加施設数などの実施結果を、後日、市ホームページにて公表します。

▼エコエネ推進室
☎23局7401 FAX22局3817
HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

愛知県消費生活モニター

【モニターの主な仕事】

①日常生活の中で危険と思われる商品、

不当な表示・悪質商法、生活必需品の価格動向などの観察・通報

- ②調査、アンケートの回答(年5回程度)
- ③生活必需品などの需給・価格調査
- ④消費者行政に関する意見・要望の提出
- ⑤地域・周囲などへの消費生活に関する情報の提供

⑥研修会(年1回の予定)への出席

▼対象 満20歳以上の愛知県内在住者(公職者を除く) ▼任期 4月の依頼日～平成22年3月31日 ▼謝礼 年額7000円(予定) ▼申し込み 1月26日(月)～2月20日(金)に市役所商工観光課または東三河県民生活プラザにある申込用紙(県ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入し提出 ▼東三河県民生活プラザ
☎(0532)52局7337
FAX(0532)52局7388
HP <http://www.pref.aichi.jp/keimin/shohiseikatsu/monitor/>

生活

青色回転灯などを無料で貸し出す

▼対象 青色回転灯を装備できる基

準緩和認定書(道路運送車両の保安基準に基づく)を有する、市内で活動する防犯ボランティア団体 ▼貸出品 青色回転灯(1団体2基以下)、反射マグネットシート(青色回転灯1基に対し2枚) ▼貸出期間 1年以内(ただし平成20年度は3月31日まで) / 更新可

▼総務課

☎23局3504 FAX23局0180

長寿(後期高齢者)医療保険料の納付方法を変更できます

昨年8月から、一定の要件を満たす方は、保険料の納付方法を年金天引きから口座振替に変更することができます。4月からその要件が見直されることとなりました。どなたでも口座振替に変更ができるようになりますので、希望される方はお申し出ください。詳しくはお問い合わせください。

▼保険年金課

☎23局3514 FAX23局0180

第5回農畜産物フェア ～来て見て食べくらひ～

今年も、渥美半島の新鮮で安全な農畜産物の即売を中心とした、地元農業者の皆さんによる地域農畜産物

のPRイベントを開催します。皆さんぜひご家族でお越しください。

▼日時 2月1日(日) 午前10時～午後2時 ▼場所 サンテパルク たはら サンテドーム内 ▼内容 農畜産物の即売コーナー、体験コーナー(鉢物寄植え、凧づくり)、餅つき、地元農産物を使った大鍋コーナー、各種模擬店、イベント、子ども向けアトラクション、かあちゃんのお店(農産加工品販売)など

▼農業者のつどい実行委員会(東三河農林水産事務所田原農業改良普及課)

☎22局0381 FAX23局1304



※※『相続110番』※※

～司法書士による電話相談(無料)～

日時 2月7日(土)
午前10時～午後3時

内容 相続、遺言、成年後見などに関するご相談に、愛知県司法書士会豊橋支部に所属する司法書士が電話でお答えします。

☎23局4911

※当日限りの受付電話番号ですので、ご注意ください。

広がる未来へ

※たはらエコ・ガーデンシティ構想

●菜の花エコプロジェクト活動 体験の菜の花畑が満開です

本年度も市内の幼稚園児・保育園児から高校生までを対象に、**菜の花エコプロジェクトの活動体験**を実施しています。

この活動は、菜の花の種まきや菜種の収穫・搾油さくゆなどの体験を通じて、子どもたちに資源循環や環境と食と農業の関わりについて興味を深めてもらおうという取り組みです。



▲菜の花の種まき(9月)



▲遊休耕地での石拾い(5月)



▲菜の花畑で笑顔を見せる福江保育園の園児たち(12月)

体験中の子どもたちは、汗をかきながらも楽しさを満喫し、笑顔がいっぱいです。満開の菜の花畑は、皆さんの協力で広がっています。

33
今月のエコライフ標語
資源は有限 工夫は無限
みんなでエコライフ

◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人89人・事業所1か所(12月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX22局3817

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

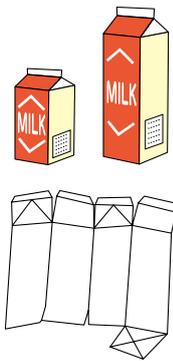


省資源とリサイクルはじいじぼん

紙パックにはいろいろな種類があり、資源として出せるものと出せないものがあります。今回は、紙パックの分別についてお知らせします。

紙パックで出せるもの

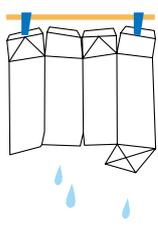
●牛乳やジュースの紙パック



※内側が白色のものが対象となります。リットルだけでなく500ミリリットルの紙パックも出すことができます。

●紙パックの出し方

切り開き、すすいでから乾かして出します。



もやせるごみになるもの

●ジュースや酒などの内側が銀色の紙パック



※内側が白色でも、小さいジュースなどの紙パックは、もやせるごみになります。

中身は空にして出します。



▼清掃管理課

☎23局33000

FAX22局3817

ゴミゴミとリサイクルレンジャー



交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

設楽へ届け！ 田原市の“春”

“海のまち”田原市と“山のまち”設楽町は、平成2年に姉妹提携を結び、以降、それぞれの自然を生かした交流を行っています。

●菜の花交流 —今年の舞台は設楽町・津具保育園—

「菜の花交流」は、平成14年12月、旧田原町農業委員会が、上流域から届けられる水への感謝の気持ちを込め、設楽町の津具保育園に遊休農地で栽培した菜の花を贈ったことがきっかけで始まりました。その後は菜の花エコネットワークなどに交流が引き継がれ、以降、現在までお互いのまちを行き来し合う交流が続いています。

平成20年12月19日(金)、今年度はNPO法人田原菜の花エコネットワーク(2名)が津具保育園を訪れ、菜の花や田原市・JA愛知みなみ農畜産物消費宣伝事業推進協議会から贈られたミカンなどを園児たちにプレゼントしました。当日、クリスマス会

を行っていた園児たちは、思いもよらぬ田原市からのクリスマスプレゼントに大喜びでした。



▲おいしいミカンと、この時期、設楽町ではめずらしい菜の花に、園児たちは興味津々でした

水
飲料水を備蓄しておくことはもちろん大切ですが、風呂の残り湯をとっておいても役に立ちます(洗濯やトイレを流すのに使えます)。ポリタンクやバケツなども用意し

電気
電気は、ライフラインの中で、もっとも早く復旧すると言われてい
ます。阪神淡路大震災のときには、電気ポットや電子レンジ、ホットプレートなどが活躍したそうです。しかし、早く復旧するとはいえ、災害当初は停電すると考えられます。懐中電灯やラジオ、乾電池は用意しておきましょう。

こんにちは、のりりんです。今回は、ライフラインが止まってしまうときへの備えについてご紹介します。



▼防災対策室 ☎23局3548
答えはたくさんあると思います。では、その「困ること」は、どのような備えをしておけば、困らなくなるでしょうか？ 皆さんそれぞれが考え、準備することが大切です。

「ライフラインが止まったら、何に困りますか？」
災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を覚えておきましょう。公衆電話が使える場合もありますので、小銭を用意しておきましょう。

ガス
カセットコンロがあると便利です。予備のカセットの用意も忘れないようにしましょう。電気が早く復旧すれば、電化製品で代用できることもあります。

のりりん

防災まめ知識

44



忍びよる巨大地震

ておきましょう。

歴史探訪

クラブ History Inquiry Club

其の
94



文化振興課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

渥美半島の文化を支えた斎藤専吉

渥美半島の伊良湖岬は、和歌や歌枕にも詠まれる景勝地として有名です。松尾芭蕉の歌の地を求めて、明治時代以降、多くの文化人が訪れています。今回ご紹介する斎藤専吉は、渥美半島とそれらの文化人との架け橋となった人物です。

斎藤専吉は明治11年（1876）、福江町に生まれました。明治32年（1961）に清田尋常小学校（清田小学校）の教員となり、亀山尋常小学校（亀山小学校）を退職するまで



▲亀山町の専吉の自宅前
（後列中央が清野、左端が専吉）

教員生活を送りました。その後、福江町助役、愛知県民生委員、亀山保育園長を務め、昭和33年（1962）に死去しました。専吉は短歌や俳句、郷土史などの研究を進め、その見識や人柄を頼って、多くの文化人が渥美半島を訪れています。多くの文化人と交流した専吉は、渥美半島の文化レベルを上げた功績がありますが、特に注目したいのは、考古学上の功績です。渥美半島の考古学上で最も有名なのは、縄文時代の人骨の発掘です。京都大学の清野謙次（1885～1955）により行われたこの発掘は、当時の日本では衝撃的なニュースとして伝えられ、渥美半島は考古学上でも注目される地となりました。

最後に、考古学者と専吉との交流を示す写真をご紹介します。保美貝塚の調査に、日本陸軍の創成期から日露戦争にかけて活躍した軍人大山



▲清野の吉胡貝塚調査30周年記念で撮影された写真
（左から清野、専吉、清野の弟子で南山大学の中山英司、田原の伊奈森太郎／吉胡貝塚にて）

（1922）に自ら発見した川地貝塚（当時は亀山貝塚）を発掘させました。清野は、この発掘を機に快進撃を始め、吉胡貝塚や多くの古い人骨の発掘を行いました。そして、それらの発掘の研究をまとめ、人類学者としてのゆるぎない地位を築きあげたのです。もしも専吉の存在がなかったら、考古学の宝庫である渥美半島の名も、人類学者清野謙次の名も残らなかったことでしょう。清野は専吉への恩を忘れず、生涯交友を続けました。

元帥の息子である大山柏が来郡するということで、渥美半島中が大騒ぎに。当時、大山柏の隣に座ることができたのは、大変名誉なことだったそうです。



▲保美貝塚の発掘現場（前列左から4人目が考古学者大山柏、左が柴田常恵、右が専吉）

※斎藤専吉の日記「撫石荘日乗」は、田原市図書館でも見ることが出来ます。
（増山）

今月の「表紙」

▼渥美半島に早春の訪れを告げる菜の花。菜の花の花言葉の一つに「快活」があります。満開の菜の花畑では、写真を撮る方も、撮られる方も笑顔に。もしかしたら、菜の花から元気をもらっているのかもしれないですね。皆さんも、菜の花畑へ出かけてみてはいかがでしょうか。(O)

【表紙の写真】福江保育園前の菜の花畑